研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
C-500		17-324	慶應義塾大学　加藤眞三

題名（原題／訳）

Communication of alcohol and smoking lifestyle advice to the gastroenterological patient.
消化器病患者の飲酒と喫煙に関する生活指導におけるコミュニケーション

執筆者

Spence AD, Khasawneh M, Allen PB, Addley J.

掲載誌

Best Pract Res Clin Gastroenterol. 2017 Oct;31(5):597-604. doi: 10.1016/j.bpg.2017.09.014.

キーワード	PMID:
コミュニケーション　飲酒　喫煙　生活指導	29195680

要　旨

医療従事者と患者の間の有効なコミュニケーションは、患者と医療専門職の関係性の発展にとって重要である。多くのバリアがコミュニケーションに影響する。そして、それが、しばしば患者の理解と情報の保持の不足をもたらす。特に生活様式習慣（例えばアルコール消費と喫煙）に関して影響を及ぼすアドバイスにおいて顕著である。

アルコールと喫煙誤用は、潜在的に修正可能な危険因子であり、種々の消化器病の条件に影響を与えることができ、これに関して患者とのコミュニケーションを改善することは重要な対処の構成要素である。

この総説は、これらの因子の臨床重要性について、そして、ヘルスケア専門家がコミュニケーションをどのように改善できるについて述べる。

我々は、医学訓練を通して言語伝達技術を強化することがどのように患者満足度と治療とアドバイスへのアドヘランスに大きな結果に至るかについて話し合う。加えて、社会の迅速なデジタル技術の普及で、ソーシャルメディアとスマートフォンのようなプラットフォームが、従来の形のコミュニケーションの補助となる可能性がある。